



ひとつ
一 医師は社会の
優越者ではない

医師と患者の
間では
医師は絶対の
優越者です

患者は受け身であり
医師が何をしようと
まったく
無防備であります



それを思い違いをして
一般社会においても

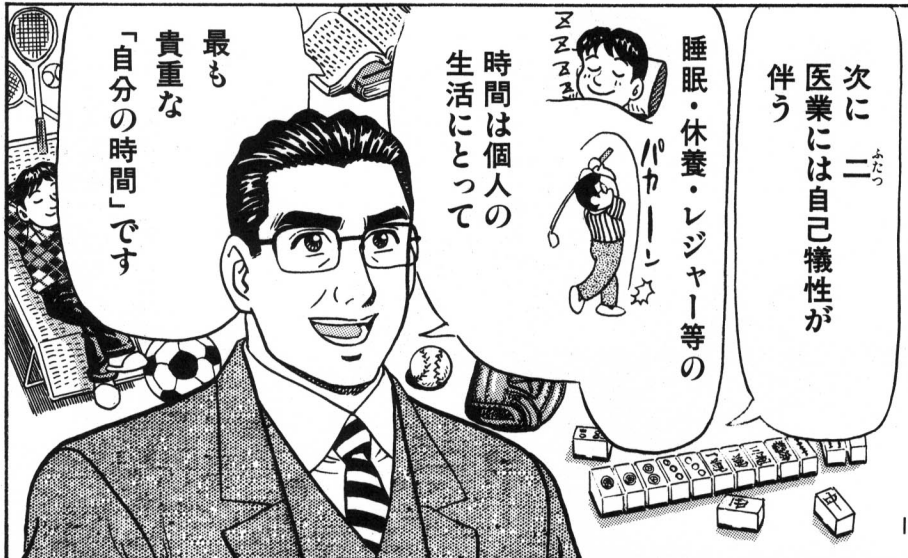
優越者との錯覚に
陥ることがあれば
まちがいです

エヘン



しかし医師は
その優越性に
驕ってはなりま
せん!

逆に最も謙虚に
なるべきなのです



次に二つ
医業には自己犠牲が
伴う

睡眠・休養・レジャー等の

時間は個人の
生活にとって

最も
貴重な
「自分の時間」です